

放課後等デイサービスガイドラインによる自己評価について

事業所評価

2025年 1月
にこにこハート

放課後等デイサービスの質の向上と支援内容の適正化を図る為、
放課後等デイサービスのガイドラインに基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：職員 100% (9名/9名)

《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	訓練室のスペースの確保や段差の解消など活動しやすいようにしている。生活空間は清潔に保ち活動しやすいように配慮している。	毎日の清掃、玩具や室内の消毒実施。スロープの設置など必要に応じて意見・要望を聞き、活動しやすいよう対応している。
業務改善	アンケート結果を毎年1月にホームページにて公表。また、頂いたご意見・ご指摘をまとめ改善に向けて会議を実施。月に1度職員会議の実施、イベントの立案や日々の支援方法の確認提案を行っている。	アンケート評価だけでなくご意見・ご指摘を頂いた際には、連絡ツールで共有・確認を行い、必要に応じて会議を実施し、事業所及び会社全体で対応している。
適切な支援の提供	日々の生活での情報共有を心がけ、普段と違う変化に対し迅速に対応できるようにしている。プログラムが固定化しないよう、月ごとに担当者を替え様々なイベントの立案を行っている。看護師や機能訓練士主導のもと医療ケアが必要な児童に対する知識の共有や協力体制の確認、ガイドラインの作成を行っている。	日々児童との関りの中で気付いた変化を職員間で共有し、連携出来るようにしていく。連絡帳や送迎引き渡し時にご家族との情報共有を行う。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	他機関と電話やメール文書にて、定期的なモニタリングの実施。自事業所での生活の様子や他機関での様子の共有を図っている。ご家庭で行って頂く支援に関しては小規模。	相談員や他機関との連携を図り日頃の様子や課題点などの共有をしていく。ご家庭で行えるトレーニング等も支援出来るようにしていく。
保護者への説明責任等	連絡帳やLINEにて保護者からの意見や要望、生活上の課題点などその都度対応している。説明が不十分と思われぬように工夫して取り組んでいく。個人情報の管理においては、適宜研修を実施している。	保護者との面談だけでなく、毎回利用時に連絡帳の活用、あわせて送迎時の保護者との会話や電話、LINEでやり取りを引き続き実施していく。
非常時等の対応	虐待・感染症・身体拘束・緊急時などの各マニュアルの提示、定期的な研修やアンケートの実施を行っている。	定期的に各委員会を行い、事業所間での情報共有・連携を行う。事業所にて災害時に備え避難訓練年2回の実施。